

ゼロ災チャレンジ 2022

令和4年 7月1日 ▶▶▶ 10月7日

参加申込締切
7月15日

労働災害が急増しています。岐阜労働基準監督署では、労働災害防止を図るため「ゼロ災チャレンジ2022」の参加企業を募集します。

概要

令和3年は死傷者数・死亡者数ともに過去10年で最多（岐阜労働基準監督署管内）となりました。**不安全行動による労働災害が多く**を占めており、その要因として、コロナ禍により安全衛生活動が低調となったことが考えられます。このため、岐阜労働基準監督署では7～9月に**集中的に労働災害防止に取り組む「ゼロ災チャレンジ2022」**を実施します。職場の安全を守り、社員一人一人の安全に対する意識を高めるため、ゼロ災を目指して次の重点取組事項を実施しましょう。

実施事項

FAXにより参加申し込みをし、次の重点取組事項を展開します。（詳細は裏面）

重点取組事項

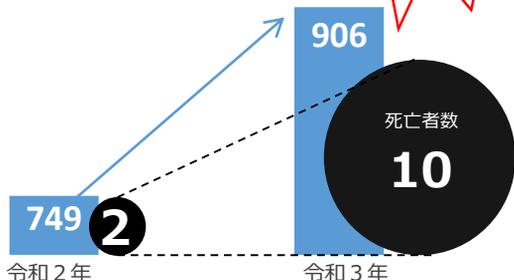
- ゼロ災 ① **安全意識を高める**
安全研修・大会の開催やポスター等の掲示等
- ゼロ災 ② **危険な箇所・作業の洗い出しとその見直しをする**
危険の感受性を高め、安全パトロール、危険予知訓練、ヒヤリハットを実施する等
- ゼロ災 ③ **転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害を防ぐ**

過去10年で最多

【死傷者数（全産業）】

※ 岐阜労働基準監督署管内

■ 死傷者数
● 死亡者数

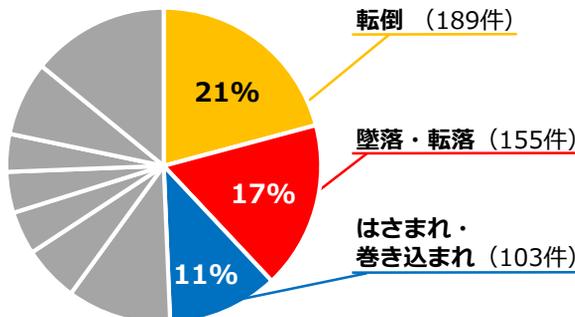


死亡災害が多発

転落、墜落 はさまれ・巻き込まれが多い

【事故の型別（全産業）】

※ 岐阜労働基準監督署管内
令和3年の死傷者数906人の内訳



(注) 「死傷者数」は休業4日以上の死傷者数としています。

実施事項

安全意識の向上、日常的な作業に潜むリスクを見直すため、「ゼロ災害チャレンジ2022」に取り組みましょう。

取組期間

令和4年 **7月1日(金)** ▶▶▶ **10月7日(金)**

申込方法

「ゼロ災チャレンジ2022」に参加を希望する事業場は、岐阜労働基準監督署 安全衛生課あて別紙様式によりファクシミリで申込みをする。

社内周知

従業員に対し、①チャレンジの趣旨 ②具体的な取組事項等について周知する。

重点取組事項の実施

期間中のゼロ災をめざし、重点取組事項を展開する。



重点取組事項

ゼロ災 **① 安全意識を高める** 安全研修・大会の開催やポスター等の掲示等

ゼロ災 **② 危険な箇所・作業の洗い出しとその見直しをする**
安全パトロール、危険予知訓練、ヒヤリハットを実施する等

ゼロ災 **③ 転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害を防ぐ**

アンケート回答

期間終了後に、岐阜労働基準監督署から送付するアンケートに回答する。～ご協力をお願いします～

期待効果

1. **安全衛生活動の活性化**
2. **求職者に対するアピール**

労働災害のない安全・安心な職場づくりに取り組む企業であることを、社内外にアピールすることができます。

「ゼロ災チャレンジ2022」参加事業所として、

- ① **岐阜労働局ホームページへの掲載**
- ② **求人票に「ゼロ災チャレンジ2022参加事業所」の表示**
- ③ **ハローワーク岐阜公式ツイッターによる事業所紹介**

※ いずれも、ご希望の事業所のみ

を行います。



< 事務局 > 岐阜労働基準監督署 安全衛生課

電話 058-247-2369

〒 500-8157 岐阜市五坪1-9-1

岐阜労働局ホームページ



ファクシミリ
FAX：058-247-1347

岐阜労働基準監督署

ゼロ災チャレンジ2022 参加申込書

「ゼロ災チャレンジ2022」の趣旨に賛同し、
期間中におけるゼロ災の達成をめざします。

令和4年 **7月1日** ▶▶ **10月7日**

参加申込締切
7月15日

事業場名		所在市町	市・町
ご担当者		電話番号	

- 岐阜労働局ホームページの「ゼロ災チャレンジ2022参加事業場」の掲載
 希望する 希望しない
- 「ゼロ災チャレンジ2022参加事業所」であることの求人票への表示
 希望する 希望しない
(希望される事業場には後日ご連絡いたします。)

～ 期間終了後にお送りするアンケートにぜひご協力ください～

「ゼロ災チャレンジ2022」実施要項

1 趣旨

岐阜労働基準監督署管内における労働災害の発生状況は、令和3年において死傷者数906人（休業4日以上死傷災害。以下同じ。）、死亡者数10人といずれも過去10年間で最多となりました。令和4年においても死傷者数は4月末時点で291人と前年を24.9%上回るペースで推移し、死亡者数は現在3人であるものの4月と5月に連続して死亡災害が発生しており、予断を許さない状況にあります。

昨年以降に発生した労働災害をみると、不安全な行動による転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害が多くを占め、その背景としては、コロナ禍により安全衛生活動が低調となったため、日常的な作業に潜むリスクに気付きにくくなったことから生じたものと考えられます。一層の労働災害防止を進めるためには、経営者・管理者、従業員の皆様方の安全意識や危険の感受性を高めることでリスクを洗い出し、その低減に取り組む必要があります。

このため、岐阜労働基準監督署では、今後の労働災害防止を図るため、管内の事業場に「ゼロ災チャレンジ2022」（以下「チャレンジ」という。）の参加を呼びかけることとしました。事業場の皆様方には、このチャレンジを通じて労働災害防止に取り組むことを内外に表明し、次の重点取組事項を集中的に実施していただくこととします。

重点取組事項

令和4年7月1日から同年10月7日までの99日間のゼロ災を達成するため、次の事項に取り組んでください。

- 1 安全意識を高める
（安全研修・大会の開催やポスターの掲示等）
- 2 危険な箇所・作業の洗い出しとその見直しをする
（安全パトロール、危険予知・ヒヤリハット活動の集中的な実施等）
- 3 転倒災害、墜落災害、はさまれ・巻き込まれ災害を防ぐ

2 取組期間

令和4年7月1日（金）から同年10月7日（金）までの99日間
（全国安全週間本週間の初日から全国労働衛生週間本週間の末日まで）

3 ゼロ災チャレンジの実施事項

(1) 参加事業場の実施事項は次のとおりです。

- ① チャレンジに参加を希望する事業場は、岐阜労働基準監督署 安全衛生課あて別紙様式によりファクシミリで申し込みをすること（令和4年7月15日（金）まで）。
- ② 事業場内で、従業員に対して、①チャレンジの趣旨、②具体的な取組事項等について周知すること。
- ③ 期間中のゼロ災をめざし、重点取組事項を展開すること。
- ④ 期間終了後に岐阜労働基準監督署から送付する簡易なアンケートの回答に協力すること。

(2) 岐阜労働基準監督署の実施事項は次のとおりです。

- ① チャレンジの趣旨・参加を管内の事業場・業界団体等に広く呼びかけること。
- ② チャレンジ参加事業場を周知すること（岐阜労働局ホームページへの掲載）。
- ③ 期間終了後に参加事業場に簡易なアンケートを行い、その結果を参加事業場に周知すること。
- ④ 災害が多発する食料品や金属製品製造業、建設業等に対する労働災害防止を主眼とした集中的な監督指導等の実施
- ⑤ 労働災害防止を目的とした講習会の開催

4 事業場におけるチャレンジの活用等

(1) 安全衛生活動の活性化

(2) 求職者に対するアピール

労働災害のない安全・安心な職場づくりに取り組む企業であることを社内外にアピールすることができます。

具体的には、ハローワーク岐阜との連携を図ることで、

- ① 求人票に「ゼロ災チャレンジ2022参加事業所」の表示を行います（ご希望の事業所のみ）。

例 「【ゼロ災チャレンジ2022参加事業所】

労働災害の防止のため、安全・安心な職場づくりに取り組む意欲的な事業所です。」

- ② ハローワーク岐阜公式ツイッターによる事業所紹介を行います（ご希望の事業所のみ）。

5 事務局

「ゼロ災チャレンジ2022」の事務局は岐阜労働基準監督署 安全衛生課に置きます。

岐阜労働基準監督署 安全衛生課 電話058-247-2369